

2015年11月18日

会員各位

日本テクニカルアナリスト協会
事務局

協会会員の講座のご案内です

この度、12月9日(水)に日経メディアマーケティングの企画の基、早稲田大学大学院ファイナンス研究科の「ファンドマネジメント講座」にて協会会員が講座を担当します。

講座案内を添付しますのでご興味のある方はご覧ください。

これからも機会があれば協会会員の講座、セミナー動向をご案内いたします。

2015年11月吉日

会員各位

早稲田大学 大学院ファイナンス研究科ビジネス講座のご案内

平素よりお世話になっております。12月9日(水)、日経メディアマーケティングの協力のもと、早稲田大学 大学院ファイナンス研究科のビジネス講座である「ファンドマネジメント講座」で当協会の理事である古城 鶴也氏が統計を用いた先端のテクニカル分析をご紹介するとともに、当協会の研究I部部長である中村 貴司氏がモメンタムを中心に行動ファイナンス理論とテクニカル分析を踏まえた講義を行う予定です。

本講座の特徴は、投信・投資顧問会社を中心としたアセットマネジメントビジネスの実務をテーマにした講座であり、実務知識習得の場として活用されています。

記

テーマ：『機関投資家のための行動ファイナンスとモメンタム分析』
～最先端のテクニカル分析の視点も加えて～

日時： 2015年12月9日(水曜日)
講義時間： 10:00～17:00(昼食休憩1時間を含む)
場所： 早稲田大学日本橋キャンパス

【プログラム概要】

「アノマリーの一つとして捉えられているモメンタムとは一体、何なのか？なぜモメンタムが生じるのか？前半では、伝統的ファイナンス理論に基づくフェアバリュー算出の方法を概観し、実際の株価がそこから乖離する理由、また回帰しない理由(なぜモメンタムが生じ、その動きが継続するのか?)について行動ファイナンスの視点やテクニカル分析の視点から概説します。後半は、国内、海外の機関投資家による活用事例を挙げて、機関投資家によるモメンタムを用いた運用実務への応用として、様々な投資戦略を紹介、課題や将来像も踏まえて講義全体を総括します。」

本講座では、伝統的ファイナンス理論や行動ファイナンス理論を踏まえつつ、モメンタムを切り口にテクニカルアナリストの分析手法を幅広くご紹介する予定ですので会員の皆様のテクニカル分析力の向上にお役立てください。

参加ご希望の方は以下からお申込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

講座内容 http://www.waseda.jp/wnfs/seminar/2015_fm_brochure_winter/index.html

申込み HP <http://www.waseda.jp/wnfs/seminar/fm.html>